

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	0	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	22	7	ヘルパンギーナ	107	111
咽頭結膜熱	15	16	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	77	79
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	20	23	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	172	157	流行性角結膜炎 (はやり目)	14	23
水痘	14	34	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	265	246	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	11	7	マイコプラズマ肺炎	6	5
突発性発しん	52	53	クラミジア肺炎	0	0

**報告が多い
感染症**

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

- 手足口病は、報告数 265件(前週報告数 246件)と増加。
地区別では、水俣、八代、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の76件を最多に、主に10～14歳以下からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数 172件(前週報告数 157件)と増加。
地区別では、人吉、宇城、有明に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の28件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 107件(前週報告数 111件)と減少。
地区別では、人吉、天草、水俣に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の33件を最多に、主に5歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性連鎖球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所		14	10	8	34	6	50	3	16		25	44		9		1	2	
山鹿保健所			1		8		5		3		1		*	*				
菊池保健所		6		4	17	2	43	3	10		11	8		2				
阿蘇保健所					4							2	*	*				
御船保健所					1		2						*	*				
八代保健所		2			19		53	4	5		10	1						
水俣保健所			2		3		28	1	2		7	2	*	*				
人吉保健所				2	28	1	21		3		21	2	*	*			2	
有明保健所			1		28	2	5		3		4	13		2			2	
宇城保健所				2	19	2	19		6		4	4						
天草保健所			1	4	11	1	39		4		24	1		1				
計	0	22	15	20	172	14	265	11	52	0	107	77	0	14	0	1	6	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	22	2	6	8	4	1	1															
咽頭結膜熱	15			6	1	1	2	2	1				2									
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	20				2	3	3	5	2	2			1		2							
感染性胃腸炎	172	4	24	28	16	20	11	8	4	5	10	4	27	1	10							
水痘	14	1	3	2	3	3	1	1	1													
手足口病	265	3	14	76	58	57	17	19	8	4	1	1	6		1							
伝染性紅斑	11		2		1	1	1	2		3		1										
突発性発しん	52	4	22	25	1																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	107	1	22	33	19	18	6	5		1			1		1							
流行性耳下腺炎	77	1	3	9	5	6	14	13	13	8	1	1	3									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	14			1									1		3	6	1					2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1								1													
マイコプラズマ肺炎	6			4	1					1												
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代・水俣 人吉・宇城・天草
- ヘルパンギーナ：菊池・人吉・天草

日本脳炎
注意報発令中



日本脳炎は、蚊(コガタアカイエカ)が媒介するウイルスによっておこる感染症です。ウイルスを保有した蚊が、免疫のないブタを吸血するとブタは感染し、ウイルス血症(感染2～3日後から3日間程度持続)を起こします。このウイルス血症時のブタを吸血した蚊が感染し、ウイルスを媒介するようになります。熊本県では、8月26日に日本脳炎注意報を発令し、日本脳炎の感染予防等について注意を呼びかけています。症状は、人は日本脳炎ウイルスに感染しても多くは不顕性感染(何も症状が出ない)ですが、推定で100～1,000人に1人が発病するとされています。発病する場合は、約6～16日の潜伏期の後、時に40℃以上の高熱、けいれん発作、昏睡状態といった症状が1週間くらい続くことがあります。日本脳炎の感染を防ぐには

- 日本脳炎の媒介蚊(コガタアカイエカ)に刺されないように心がけること
- 蚊の多い場所においては、長袖、長ズボンの着用や虫除け剤の使用など
- 家庭周りの水たまり(植木鉢の皿、古タイヤ、竹の切り株など)をなくし、蚊の発生源を減らす
- 休養、栄養、睡眠を十分にとり過労を避け、体力の保持に努めること



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課